

衆議院法務委員会ニュース

平成 20.4.11 第 169 回国会第 7 号

4 月 11 日、第 7 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

- ・鳩山法務大臣、河井法務副大臣、古川法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

稲田 朋美君(自民)

- ・検察における裁判員裁判の対象事件の取調べについて、録音・録画を実施する場合を典型的に明確化すべきと考えるが、検察当局の方針を伺いたい。
- ・司法試験の合格者を 3,000 人に増やすとしているが、法曹人口の在り方について、法務副大臣の所見を伺いたい。
- ・裁判員裁判に国民自ら参加することが重要であると考えますが、その意義及び趣旨を国民に周知するための方策について、法務大臣に伺いたい。
- ・特にアジア諸国の法整備支援を行うことは、戦略的・効果的な外交政策にとって重要であると考えますが、その充実に向けた法務省の取組について、法務大臣に伺いたい。

神崎 武法君(公明)

- ・平成 21 年 5 月に裁判員制度が開始されるが、これに向けた法務大臣の決意を伺いたい。
- ・司法試験合格者 3,000 人は多すぎるとの大臣発言は、法科大学院の学生及び教員などに将来に対して不安を抱かせるおそれがある。内閣に審議会を設置し、多方面から意見を聞いて、法曹人口の在り方を議論すべきであると考えますが、法務大臣の意見を伺いたい。
- ・危険運転致死傷罪を適用するには、「正常な運転が困難な状態」と認定するのは難しいため、構成要件を見直すべきであるとの意見があるが、法務当局の考えを伺いたい。

中井 治君(民主)

- ・裁判所が下した死刑判決は肅々と執行し、法務大臣は特赦や恩赦の判断を行うのみとする制度とすべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・担当外の破産事件の審尋に出席し当事者に質問した地方裁判所長の処分が厳重注意に留まったが、処分の妥当性について、最高裁判所当局の見解を伺いたい。
- ・諸外国との間で犯罪人引渡条約及び刑事共助条約の締結を積極的に進めていく必要があると考えますが、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・取調べの全面的可視化を実施すべきであると考えますが、法務大臣の見解を伺いたい。

細川 律夫君(民主)

- ・警察が関与した事件の捜査には、警察は身内には甘いと疑われない制度をつくるべきと考えるが、警察当局の見解を伺いたい。
- ・警察内部の不祥事について、第三者機関が捜査する必要があると考えるが、警察当局の見解を伺いたい。
- ・徳島刑務所で発生した暴動事件に対する捜査について、身内の刑務官でなく警察に捜査を依頼するなどの対応ができたはずと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

河村 たかし君(民主)

- ・先日、兵庫県において、自動車運転中に携帯電話で通話していたとして逮捕された事件があったが、どこで手錠を使用したか等本件の概要について、警察当局はどの程度正確に把握しているのか。
- ・選挙の際に公費で支払われるポスター作成費及び自動車燃料費の不正請求事件が全国で多発しているが、警察及び検察当局の対応が事件によって異なっている理由並びに起訴された事例が見当たらない理由を伺いたい。
- ・名古屋刑務所事件において無罪判決が確定した刑務官に対して、法務大臣は寄付を行う意思があるか。また、本件を踏まえ、身柄を拘束されなかった者に対しても補償を可能とするために、刑事補償法を改正する必要があると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

石関 貴史君(民主)

- ・道路特定財源の一般財源化について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・中国のチベット情勢について、我が国の人権担当大臣である法務大臣の見解を伺いたい。
- ・人格・能力ともに備えた捜査員から選抜する「取調官」を新設して取調べに当たらせるといった意見について、警

察当局の見解を伺いたい。

- ・米国軍人が日本で受刑する場合、食事にステーキが出されるなど、日本人の受刑者と比べて処遇が極端に異なるが、法務大臣政務官の見解を伺いたい。

保 坂 展 人君（社民）

- ・日体大の水泳部員が、中国での高地トレーニング中に死亡した事故について、文部科学省は死因をどのように認識しているか。
- ・水泳部員の死因は突然死とされている。大学側は彼の両親に対して解剖を勧めるべきであったと思うが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・約4か月間で10名の死刑を執行しているが、昨年12月18日に国連総会で採択された死刑執行の停止を求める

決議を法務大臣はどのように考えているのか。

滝 実君（無）

- ・振り込め詐欺については、還付金詐欺等の新たな形態のものが発生していると聞いているが、最近の状況がどうなっているか伺いたい。
- ・今後、団塊世代の刑務官が大量に定年退職を迎えることになるが、その対応については、どのように考えているのか。また、退職した刑務官を出所者の就職支援に活用することはできないか。
- ・刑務作業において国と民間企業との協力が進んでいるのと同様に、受刑者の出所後の就職支援においても民間企業との協力が重要であると思うが、法務大臣の所見を伺いたい。

2 保険法案（内閣提出第65号）

保険法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律案（内閣提出第66号）

- ・鳩山法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。